

1. 上北地域の課題

①救急医療施設へのアクセス

○上北地域に救命救急を担う第3次救急医療施設がなく、60分で到達できない地域が広く存在。(図1)
(上北地域人口の約2割(4.6万人)が圏域外。)

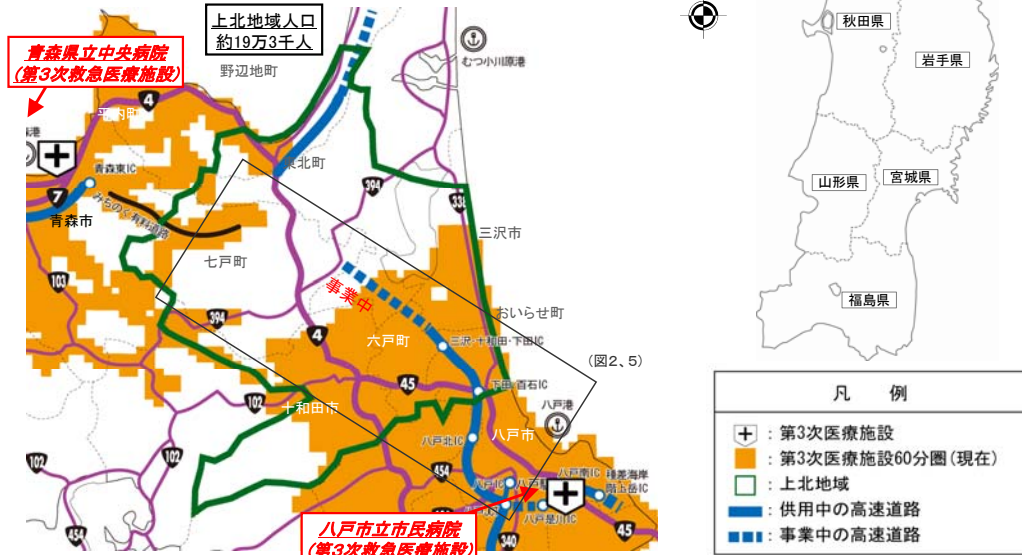


図1 第3次医療施設60分圏域図(現況)

②上北地域を横断するリンクで混雑が発生

○上北地域の県道以上の幹線道路のうち国道4号・国道45号及び主要地方道八戸野辺地線などの上北地域を横断するリンク(八戸～青森方向)で混雑度1.0を超過(図2, 3)



図2 上北地域の渋滞状況



図3 国道4号の混雑状況

2. 原因分析

①高速ネットワークが未整備

○三沢・十和田・下田IC以西の高速道路が未整備のため、速達性の確保が困難(図4)

○三沢・十和田・下田IC以西の事業中箇所が供用しても上北地域では依然として約2.3万人が第3次医療施設に60分で到達できない。
(上北地域からの八戸市立市民病院等への管外搬送:年間約100件)(図4)



図4 第3次医療施設60分圏域図(事業中區間供用後)

○事業中区間が供用した場合、並行する(主)八戸野辺地線からの交通転換は見られるが、国道4号と未接続のために、国道からの十分な交通転換が図られない。(図5)

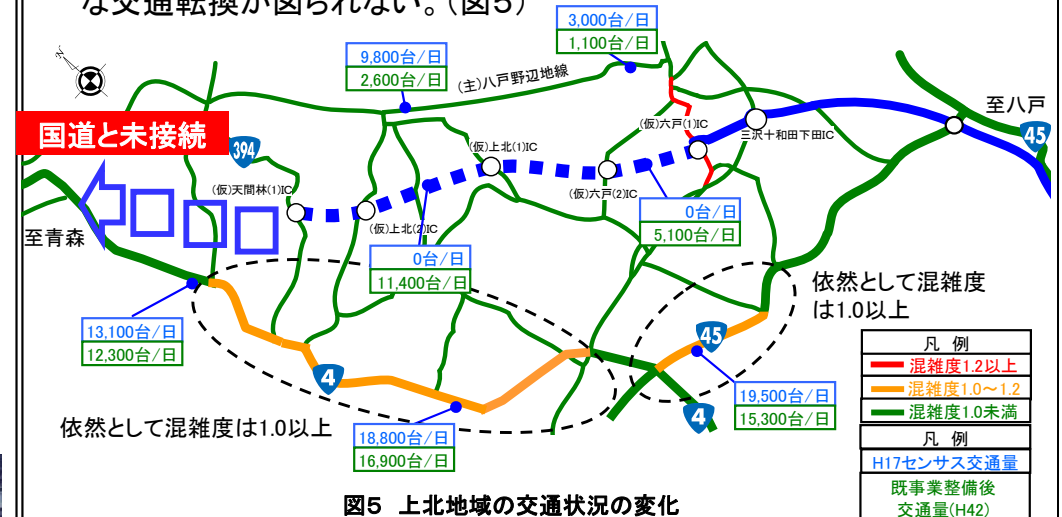


図5 上北地域の交通状況の変化

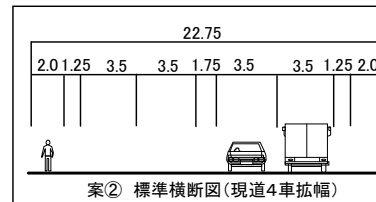
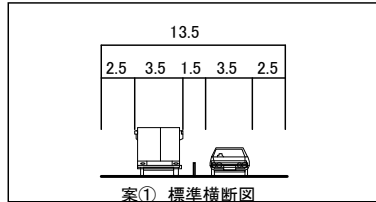
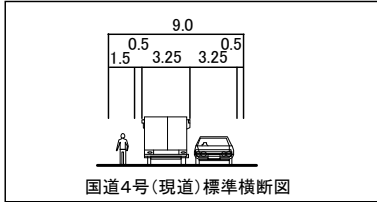
3. 政策目標

- ①第3次医療施設への速達性向上
- ②国道4号・国道45号の混雑緩和

青森県上北地域における計画段階評価

4. 対策案の検討

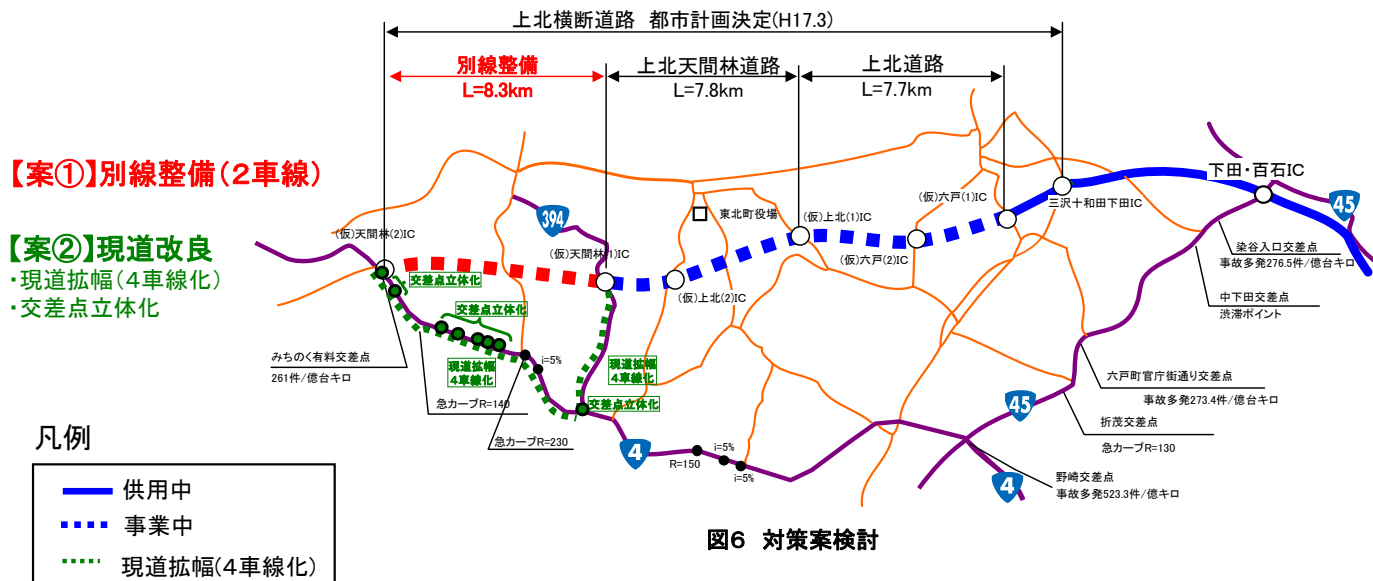
評価軸	【案①】別線整備(2車線)	【案②】現道改良(現道拡幅、交差点立体化)
①第3次医療施設への速達性向上 【指標: 第3次医療施設60分圏内人口の改善】	<p>自動車専用道路のため安定した速達性が確保される</p> <p>○ 上北地域(人口約19.3万人)における第3次医療施設60分圏内の人口(カバー率)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【現況】 約14.8万人(76%) → 【既事業区間供用時】 約17.1万人(88%) → 【整備後】 約18.2万人(94%) 	<p>△ 現況混雑は緩和するが一般道路のため、速達性の向上はわずか</p> <p>△ 上北地域(人口約19.3万人)における第3次医療施設60分圏内の人口(カバー率)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【現況】 約14.8万人(76%) → 【既事業区間供用時】 約17.1万人(88%) → 【整備後】 約17.2万人(89%)
②国道4号・45号の混雑緩和 【指標: 整備後の混雑度1.0以上区間長】	<p>○ アクセス性が改善し交通転換が図られるため、国道4号・45号の混雑は改善(混雑度1.0以上のリンク無し)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【現況】 混雑度1.0以上 33.8km → 【既事業区間供用時】 混雑度1.0以上 18.8km → 【整備後】 混雑度1.0以上 0.0km 	<p>△ 国道からの交通転換が図られず、混雑区間が残る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【現況】 混雑度1.0以上 33.8km → 【既事業区間供用時】 混雑度1.0以上 18.8km → 【整備後】 混雑度1.0以上 15.5km
コスト	約260億円	約190億円
総合評価	○	



対応方針案: 案①による対策が妥当

【計画概要】

- ・一般国道路線名: 一般国道45号
- ・区間: 青森県上北郡七戸町字附田向～上北郡七戸町字後平
- ・概略延長: 8.3km
- ・標準車線数: 2
- ・設計速度: 80km/h
- ・概ねのルートは図6案①のとおり



(参考) 当該事業の経緯等

都市計画決定の状況

H17年3月 案①で都市計画決定済み

地域の要望等

H23年 7月 青森県知事が、国土交通大臣宛に上北横断道路の早期整備及び未着工区間の新規着手について要望

H23年 9月 青森県知事が、国土交通大臣宛に上北横断道路の早期整備及び未着工区間の新規着手について要望

H23年10月 青森県知事、青森県議会及び七戸町長が、国土交通大臣宛に上北横断道路の早期整備及び未着工区間の新規着手について要望

一般国道45号 天間林道路に係る新規事業採択時評価

てんまばやし

1. 事業概要

・起 終 点: 青森県 上北郡七戸町字附田向
 ~上北郡七戸町後平

- ・延 長 等: 8.3km(2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約260億円
- ・計画交通量: 約11,000台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約7,000台/日	約1,500台/日	約2,500台/日

- ・総 費 用 : 約224億円
- ・総 便 益 : 約588億円
- ・B / C : 2.6
- ・経済的内部収益率(EIRR): 11.1%

※総費用、総便益については、基準年(H23年)における現在価値を記入
 ※便益には3便益(走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益)を計上



2. 地元調整の経緯等

都市計画決定の状況

H17年 3月 都市計画決定

地域の要望等

- H23年 7月 青森県知事が、国土交通大臣宛に上北横断道路の早期整備及び未着工区間の新規着手について要望
- H23年 9月 青森県知事が、国土交通大臣宛に上北横断道路の早期整備及び未着工区間の新規着手について要望
- H23年10月 青森県知事、青森県議会及び七戸町長が、国土交通大臣宛に上北横断道路の早期整備及び未着工区間の新規着手について要望

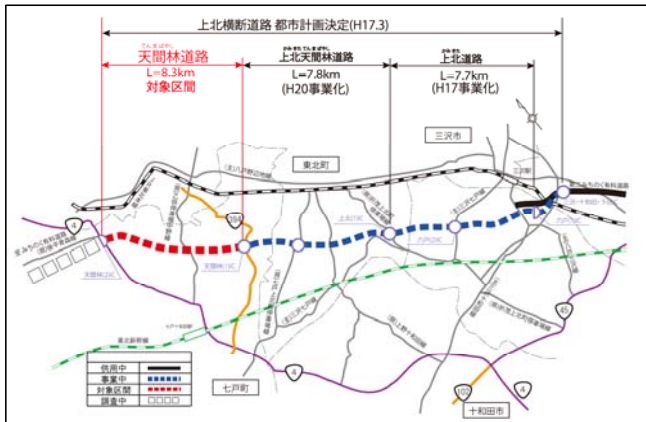


図1 事業位置図

3. 道路交通上の課題

①救急医療施設への速達性

・上北地域に救命救急を担う第3次救急医療施設がなく、60分で到達できない地域が広く存在。(図2)(上北地域人口の約2割(約4.6万人))が圏域外。

②国道4号、45号における慢性的な混雑

・上北地域の県道以上の幹線道路のうち国道4号、国道45号及び(主)八戸野辺地線などの八戸市~青森市間を連絡する道路で混雑度1.0を超過

4. 整備効果

※整備効果は現在事業中の上北道路・上北横断道路の供用効果を含む。

効果1 第3次医療施設への速達性向上

・高速ネットワークを延伸することで、第3次医療施設への搬送時間が短縮するとともに60分圏域が拡大(図2)

〔ちびき病院(東北町)~八戸市立市民病院間:
 現況 89分 → 整備後 53分 (36分短縮)
 上北地域の60分圏人口:
 現況 約14.8万人 → 整備後約18.2万人(3.4万人増)〕

効果2 青森~八戸間の混雑緩和

・当該区間の整備により国道4号、45号の交通転換が図られ、現道の混雑が緩和。(図3)

〔上北横断道路の並行区間(国道4号、45号)の混雑度の変化
 現況 混雑度1.0以上 33.8km
 → 整備後 混雑度1.0以上 0km〕



図2 第3次医療施設60分圏域図(当該区間整備後)

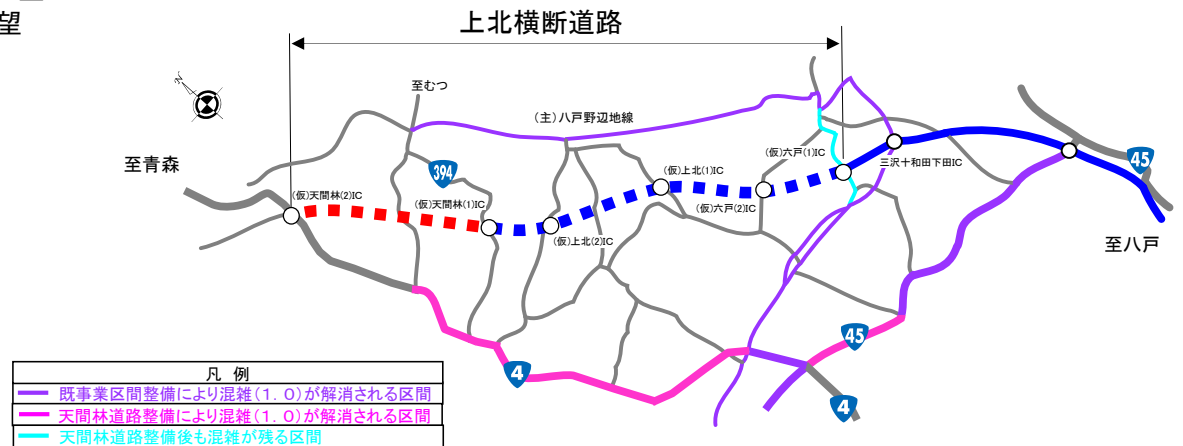
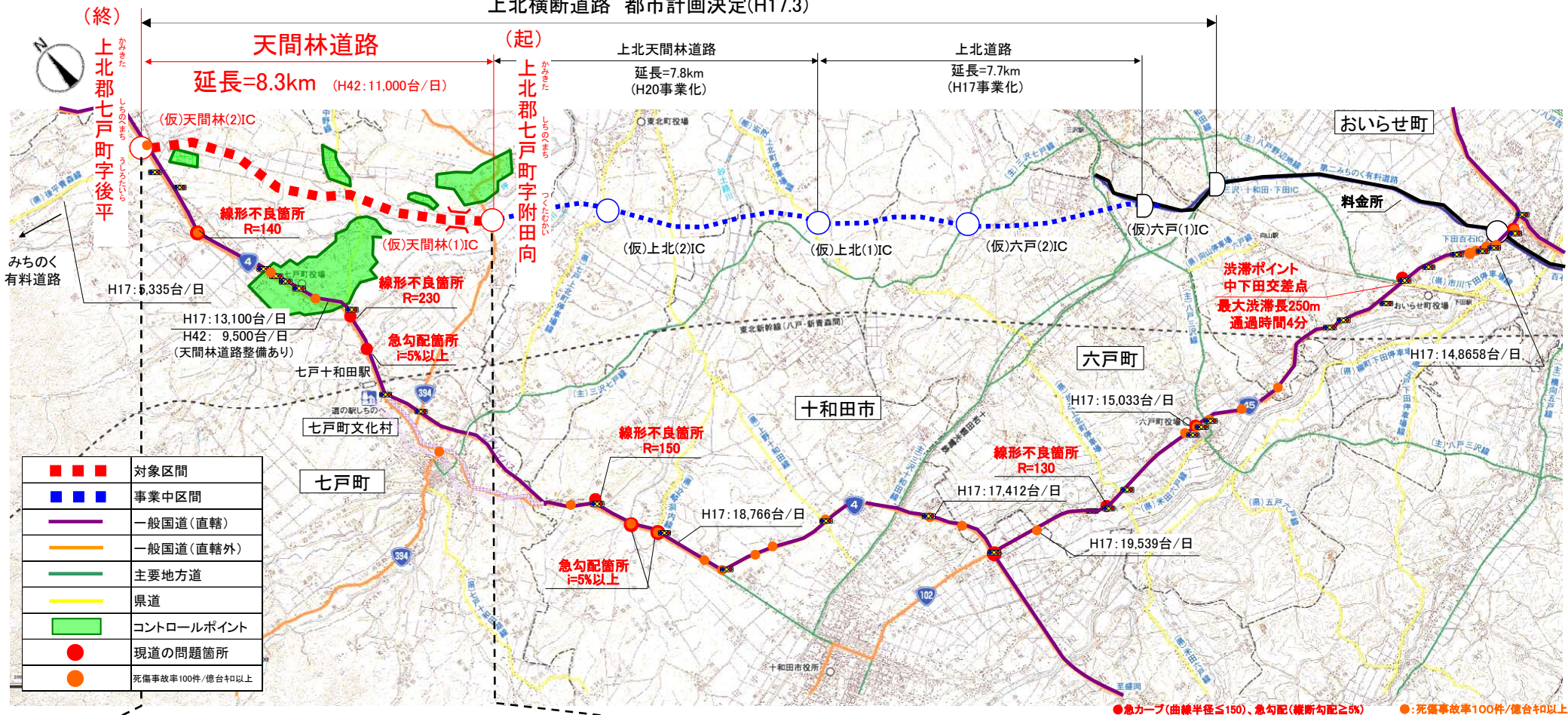


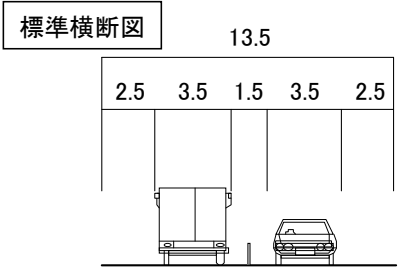
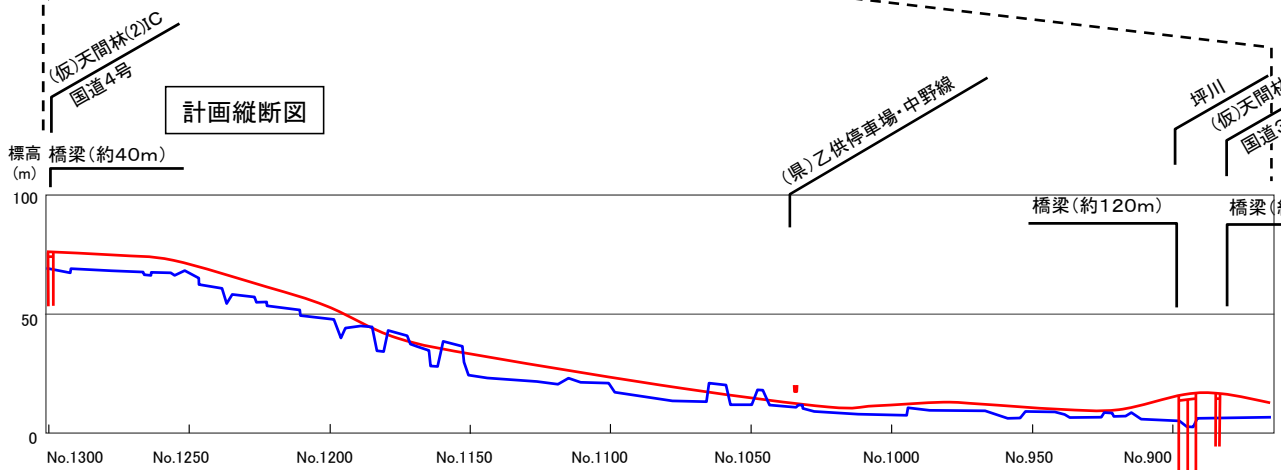
図3 上北地域の道路整備による渋滞状況の比較

一般国道45号 天間林道路に係る新規事業採択時評価

上北横断道路 都市計画決定(H17.3)



■ ■ ■	対象区間
■ ■ ■	事業中区間
—	一般国道(直轄)
—	一般国道(直轄外)
—	主要地方道
—	県道
■	コントロールポイント
●	現道の問題箇所
●	死傷事故率100件/億台キロ以上



費用対便益の詳細	
費用対便益	B/C 2.6
【総費用】	224億円 事業費: 200億円 維持管理費: 24億円
【総便益】	588億円 走行時間短縮: 510億円 走行経費減少: 57億円 交通事故減少: 21億円
【基準年】	平成23年